

2月の植物

ロウバイ (ロウバイ科)

学名 : *Chimonanthus praecox* Link

花期は1~3月、葉は有柄で対生、植栽される高さが2~4m程になる中国原産の落葉低木。幹は叢生して分岐する。葉より先に枝の節に香りのよい花を下向きにつけ、花被は多数で内層片は暗紫色。中層片は黄色で光沢があり、下層片は多数の細鱗片となる。果実は9月ごろ褐色に熟す。

20年ほど前に円応寺近くの造成地に黄色の花が咲いていたので実生か挿し木で育てたもの。その時は黄色の花を見て「ソシンロウバイ」と思っていたが、今年は花を見たいと伸ばし放題にしたら花が咲いた。花をよく見ると「ロウバイ」であることを確認できた。花の香りは強く、音楽でも聴きながら嗅ぐと最高の祝福の時間である。

ソシンロウバイはロウバイの一形で、花の中心部が暗紫色にならず、全体が黄色のもの。葉を触ると裏はツルツルしているが、表がガサガサしているので実態顕微鏡で観察すると丸い油点みたいなものが見えた。

(文責 小池 英毅)



1月22日 ロウバイの花は下向き



1月22日 ロウバイの落ち葉



1月23日 ロウバイの花



1月24日 ソシンロウバイの花